

オンライン朝会「相手の目を見て」 6 / 10

今年の日光移動教室では、移動教室に関わって働く様々な方々の姿から「自分の生き方を考える」という大きなテーマをもって、たくさんの方の事を学んできました。

この写真は、外国人の観光客や移動教室に関わってお仕事をしている方々へインタビューをしている場面です。印象的だったのは、6年生のみなさんが、相手の顔を覗き込むように、相手の目をしっかり見て、話を聴いていたことです。耳で聴くというよりも、目で聴いていた印象です。

そして、校長先生が最も6年生はすごいなあと思ったのが、この場面です。食堂に入る前に、宿の方が消毒液を一人一人の手にかけて下さっていた時です。おはようございますとか、お願いしますと言って、それだけでも礼儀正しいですね。でも何人かは、そのまま食堂に入らずに、顔を上げて宿の方の目を見て、ありがとうございますとか、いただきますと、お辞儀をしてから入っていました。さすがです。

様々な方々から生き方を学ぶという大きな目的をもった移動教室です。その目的や相手に対する感謝の気持ちがあるからこそその行動だったと思います。もしそのような気持ちが無ければ、右側の写真のように、立ち止まりもせず、相手も見ず、手だけを出して通り過ぎたら、もはやロボットが相手のようになってしまいますね。これでは悲しいです。

もう一度最初の写真を見てみましょう。相手の目をよく見て、しっかり話を聴いている様子が伝わってきます。先週の1・2年生の遠足でも、話をしている人に、つま先を向けて、体を向けて、しっかり話を聴くことの大切さを繰り返し学んでいました。毎日の生活の中で、とても大切なことです。

今月6月は、「ふれあい月間」です。お互いを大切にする事を、あらためてしっかり考える「ふれあい月間」です。今日紹介した6年生のように、相手の目を見て挨拶をしたり、話をしたり、聴くことを大切にしてほしいと願います。